「世界の茶の文化セミナー」第2回 アンケート集計結果

外部参加者合計:88名 アンケート回答者:67名(回答率:76%)+スタッフ15名(府大5名、堺なんや衆:10名)

市民活動団体"堺なんや衆"

Ι.	「世界の茶の文化セミナー	」の開催について	(平成20年10月4日、於·大阪府立大学)
----	--------------	----------	-----------------------

1	どのような方法で第2回「セミナー	」の関係を知り主したかっ
Ι.	といような刀法と第2回! セミナー	「W餅惟を知りましたか!

①前回セミナー案内	②郵送案内	③ポスター	④ チラシ	⑤インターネット	! !
23	11	3	! 18	6	 -
⑥知人・友人からの紹介	!		⑦その他		
11	・大阪府立大学セミナ-	- ・公民館講師	・堺国際ツーデーマ	ーチ会場	

2. 今後、開催行事をお知らせする方法としては、あなたにとってどの方法が好都合ですか?

・郵送:25 ・広報さかい:16 ・インターネット:8 ・メール:5

3. 次回以降の「セミナー」へのご参加について

①第3回に参加する	②第4回に参加する	③都合がつけ	ば参加	④参加しない	
25	12		i	0 '	

11. 第2回セミナー「日本と中国 茶文化の比較」について

1. 「茶の湯」は、堺で千利休により大成されたことをご存じでしたか?

	<u> </u>	<u> </u>	1/// C 1// C C	<u> </u>	
①知っている	1	②知らなかった	 	1	
59	- ī -	5			 ·

2. 「CHA(茶)の心」ということをご存知でしたか?

CHA: ふれあいCommunication、もてなしHspitality、人間関係の形成Assciateの略称(角山 榮先生提唱)

	①知っている_	_ 1	②知らなかった		 <u> </u>	 	
ľ	17		45	 	 i		1

3. 講演「日本と中国 茶文化の比較」についてご感想をお聞かせください

- ・日本と中国の茶文化の違いがよく分かった(おどろいた、興味があった)
- ・角山先生の解説(「お茶によるおもてなしは人間関係を形成する媒介で、世界の平和に通じる」)に感銘を受けた。
- ・質疑の時間をもうけてほしかった

Ⅲ、お茶のもてなし「一期一会」席について

1. お茶のおもてなし「一期一会」席の開設目的はご理解いただけましたか?

①意義深いお茶席	②よかった	③分からない	 	'	
20	29	1	 		

2.「中国茶」の解説についてご感想をお聞かせください

- 1	-· I - 1/43 - 4/1		C 00 710 C 11 C				
	①勉強になった	②興味がわいた	3関心なかった	Ī	 :	1	
	45	14	. 0				

3. 本日のおもてなしのお茶「嬉野茶」について

銘柄は、①知ってし	いた ②聞	いたことがあ	った	③知らなかった	、味は、①美味しかった	<u>ම</u> ද	れほどでもない
29	- ī	15	ī -	15	46	-i -	4

4. 「一期一会」席について、特に、印象に残ったことをお聞かせください

- ・谷本陽蔵先生のお話が興味深く勉強になった
- ・藤光美芳さんの実体験をもとにした中国の茶の生活文化は形式ばらず興味深かった
- ・毎回、違った世界のお茶のもてなしを受け、お話が聞けるのは良い企画だと思う
- •「一期一会」を、形式にこだわらずに多くの人が意識して体験できる試みは斬新だと思う

Ⅳ. 参加者居住地(受付名簿より集計)

参加者居住地	堺	富田林	大阪	■高槻、和泉、	泉大津、岸和田			
参加者数	52人(59%)	12人 10人		各2人(×	4市=8人)			
参加者居住地	常滑	常滑、京都、松原、高石、大阪狭山、河内長野						
参加者数		88人						